

F.P.JOURNE
Invenit et Fecit

オーナーズマニュアル

Chronographe Monopoussoir Rattrapante
Chronographe Monopoussoir Rattrapante Sport

独自の機構に基づいて設計されたデザイン

Chronographe Monopoussoir Rattrapante

FPジュルヌは、ラインスポーツの直径44mm、厚さ12mmのケースに、大型の日付表示が付いたクロノグラフ・モノプッシュャー ラトラパンテを発表しました。また、新しいムーブメントを2つの異なる素材で開発し、ケース素材には3種類ご用意しています。PT950と18Kローズゴールドケースには18Kローズゴールド製ムーブメント、グレード5のチタニウムケースにはアルミニウム合金製ムーブメントで、チタニウム製のブレスレットは既存モデルのラインスポーツと同じですが、新たに加わったケース素材に合わせてプラチナ及びマット仕上げの18Kローズゴールド製ブレスレットも開発されました。

メタルブレスレットには、それぞれのケースの素材と同じものを使用しています。ラインスポーツは現行モデル同様、ヴァンテージカーのバンパーから着想を得た緩衝ラバーをブレスレットの一つひとつのコマの先端とケースの側面に斬新な技法で装着することによって時計を衝撃から効果的に保護し、現代的でスマートなデザインをより一層際立たせています。また、ディプロイメント・バックルはどなたの手首にも合うよう可動式になっており長さを±5mm以下の範囲で調整することができます。

このクロノグラフは、80時間のパワーリザーブを備えており、フルに巻き上げた状態から48時間経過後でもクロノグラフを作動させスプリット秒針機能を有効に使用することが可能です。また、6時位置には5.20x2.80mmの大型日付表示が付いています。

また、ケースの3種類の素材に合わせ、文字盤の色が異なります：

プラチナ製モデルには、ギョーシェの施されたブルーモーブ文字盤、マット仕上げのホワイトゴールド製のアップライドインデックス、シルバー製の2つのクロノグラフ積算計、マット仕上げのロジウムメッキ針が使用されています。

18Kローズゴールド製モデルには、ギョーシェの施されたルテニウム加工のシルバー文字盤、マット仕上げの18Kローズゴールド製のアップライドインデックス、シルバー製の2つのクロノグラフ積算計、マット仕上げの5Nゴールドメッキ針が使用されています。

チタニウム製モデルには、スレートカラーのアルミニウム合金文字盤、スーパーミノバのアップライドインデックス、刻印が施されたサファイアクリスタルの2つのクロノグラフ積算計、スーパーミノバが施された針が使用されています。

ベゼルにはタキメーター表示が付いており、オンリーウォッチに出品され高い評価を得たラトラパンテを思い起こさせる立体感のある数字をセラミックの上に施しています。

3つのポジションを持つラバーコーティングされたリュース

- ポジション1で巻上げ、ポジション2で大型日付表示の調整、ポジション3で時刻合わせ
- 2時位置のプッシュボタンで、クロノグラフのスタート・ストップ・リセット用
- 4時位置のプッシュボタンはスプリットセコンド用

この新しい手巻きキャリバー1518は、他のムーブメントと同様、F.P. ジュルヌのマニファクチュールで発明・製作され、私たちの時計師の手で一つ一つ組み立てられます。F.P.ジュルヌは、それぞれの熟練された時計師が最初から最後まで組み立ての全工程を行う独自の方法で、時計製作の伝統と職人的な技を継承しています。

オンリーウォッチの為に特別に製作されたクロノグラフの開発と進化により、この新しいムーブメントには、スタート時の針のブレ防ぐ現代的なスウィングピニオンのクロノグラフクラッチを搭載しています。

F.P.ジュルヌのブランド特徴である、薄さ6.80mmのムーブメントの中に大型日付表示を組み入れるのは非常に難しい開発でした。また、サファイアケースバックを通して、ブランドの特徴とも言える高度な機構を備えかつ洗練された美しいムーブメントや仕上げおよび装飾をご覧いただけます。

クロノグラフとスプリットセコンド機能 2つの関連する発明

クロノグラフとその始まり

クロノグラフのという言葉を知ると、多くの方がNicolas-Matthieu Rieussec/ニコラ・マチュー・リュウセックを思い浮かべると思います。なぜなら彼が1822年にギリシャ語のchronosとgraphôで“時を記す”を意味する機構を発明したからです。しかし、これだけでクロノグラフの歴史を総括してしまうと、現代的なクロノグラフを生み出し多くの人々を虜にさせる部分が欠けていることとなります。

時間は計測する以前に、まずは秒を刻み、それを表示することのできる極めて精度の高い計器が必要となります。天文学者、数学者、時計師の研究はこの点で共通しています。George Grahamジョージ・グラハム(1673 – 1751) は、一つの現象の持続時間を計測するため、機械的に秒を分割する(理論上1/16秒)方法に興味を持った最初の人であったと言えるでしょう。そこで直面した問題は、この装置は時刻を表示せず、ゼロリセットとストップを手作業で行なう必要が生じた事です。

次の段階は、秒を独立して表示するという事でした。時刻表示の機構の上に2つ目の輪列により時間(18'000振動/時で1/5秒)を表示する独立した秒針を組み込むことにより、時計の精度がスタート/ストップ機能からの影響を受けないようにしました。パリで活躍したジュネーブ出身時計師のJean Romillyジャン・ロミリは、1758年オフセットされた秒が付いたリピーター時計を王宮科学学院で発表し、1776年Jean-Moise Pouzaitジャン・モイズ・プゼは独立したジャンピングセコンドを提案しました。

特に多くの実験が時間の計時と関係していた科学者たちは、精度の高い計器を求めていました。Louis Moinet ルイ・モワネは天文学者の仕事や彼らが必要とするものから1816年独自の積算計を考案しました。「compteur de tierces (60分の1秒積算計)」と名付けられたこの発明は、1853年の彼のTraité d'Horlogerie時計製造概論 (第2巻p. 430-431)で詳しく説明されています。216'000振動/時のテンプによって1/60秒を秒針が表示することを考えると、この積算計に関する困難な点をすぐに想像することができます。それは、潤滑、早期の摩耗、エネルギー消費などです。彼は、この概論のなかでその当時の同僚たちの研究も幅広く紹介しています。

そして軍人たちは、これらの高精度計器のおかげで射程距離精度を高めることを目指していました。ブレゲが書いた本のなかにも「軍隊の歩を測定する戦術の積算計」が出てきます。これらの計器は、1分間に60回でなく76回鼓動するもので、1819年頃から記録が見つっています。

戦略的でありながら、もっと優美な面もありました。それは競馬レースで賭けをする人達のためにリュウセックはクロノグラフと名付けられた機構を開発したのです。こちらは、自身が1分間に1回転する秒の目盛り付のエナメル文字盤を持ち、その上にはケース外部のボタンを押すことによりインクを一滴置き印を付ける機構がありました。この時計は時間を記し、ギリシャ語の“Chronos” 時と “Graphè” 記すから由来し、現在私たちが使っている “chronographe” の名前が生まれました。もちろん、これを高精度の時計を意味するクロノメーターとは混同しないでください。

この機構は、特にアブラハム-ルイ・ブレゲの弟子である時計師Frédéric-Louis Fattonフレデリック-ルイ・ファトンにより完成されました。彼の時計では文字盤が固定され、回転する秒針の方に小さなインク受けが付いていました。この針はケース外部とつながる装置により、ボタンを押すと針が文字盤の上に小さなインクの滴を置いていました。1823年のフランスの産業展覧会の報告書の中で、ブレゲとリュウセックの作品についてこのように記してあります。後者は、彼の作品で銅メダルを受賞しています。

現代的なクロノグラフは、ニコル&カプト社をロンドンで営んでいたジュウ溪谷出身のアドルフ・ニコルが、1862年に初めて秒針を止めた後出発点にそれを戻すことができる機構を発明しました。彼はこのために、現在でも使われているリセットのハートカムを使いました。

その機能性により大変人気のある複雑機構のクロノグラフは、現在まで様々な進化を遂げてきました。極めて困難なのは時間を正確に読み取るため、設計に際しては確かな精度を必要とすることです。今日、フランソワ-ポール・ジュルヌは、今までにない斬新なスプリットセコンド付きのモノプッシャー・クロノグラフを発表することで、18世紀の偉大な時計師に並びクロノグラフの進化に更なる貢献を果たす事となりました。

インターバルを読むスプリットセコンド機能

これらの精密計器を正確に読みやすくするため、インターバルを表示する針を止めることができることが重要になりました。

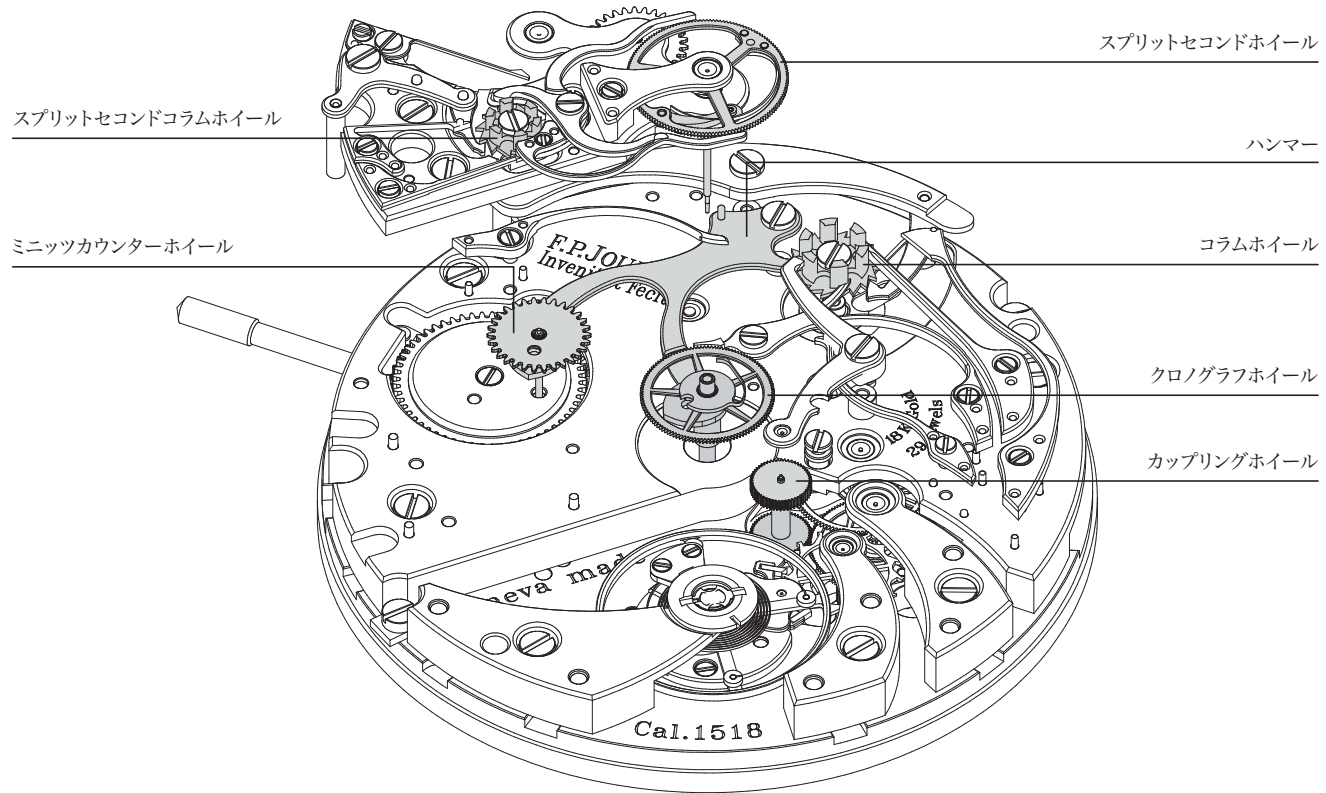
1827年Louis-Frédéric Perreletルイ-フレデリック・ペルレは、2本の秒針を備えた時計を発明しました。1本は好きな時にストップでき、同じプッシュボタンを押すことにより、もう1本の動いている針にその針は追いつきました。

1831年頃Joseph-Thaddeus Winnerlジョセフ-テデウス・ヴィネルリは「スプリットセコンド」機構を発明しました。それは秒針を止め、この針の止まっている時間が30秒以内であれば停止時間分追いつくことができるものでした。この最初「羽のくちばし」と呼ばれる機構と後に彼が発明した2つ目の機構は2本の重なった針を備えた機構の特徴は、それらがクロノグラフの機構でなく秒の歯車の上に付いていたことでした。

現代百科全書に様々な記事を書いたHenri Robertアンリ・ロベールの研究についてもお話すると、1833年奨励会によって報告された「計時積算計と携帯可能なアラーム時計」が特筆すべきものです。この時計の特徴は12時位置にスプリットセコンド機構（右の図を参照）を備えていたということです。

1880年頃、スプリットセコンド機能は現在のような形になりました。この当時から多数のクロノグラフ製造会社がありますが、スプリットセコンドを作れるメゾンは極わずかです。スプリットセコンドを語るときには、自然と最も複雑なタイムピースを思い浮かべます。その中でもルイ-エリゼ・ピゲと共にアミ・ルクルトが作り1878年パリ万博博覧会で銅賞を受賞した「La Merveilleuse/メルヴェイユーズ」は代表的なものです。

特性



取扱説明書

リューズ

巻上げ

リューズをポジション0の位置で停止するまで反時計回りに回転させます。

大型日付表示の調整

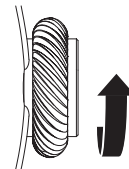
リューズをポジション1の位置に引き上げ、反時計回りに回転させ正しい日付に合わせます。**31**日の月を除いて手動による修正が必要です。

時刻合わせ

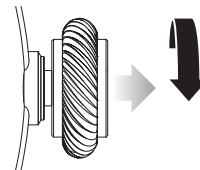
リューズをポジション2の位置に引き上げ、時計回りまたは反時計回りに回転させます。

重要！

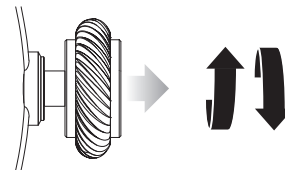
時計を使用する際には必ずリューズをポジション0へ戻してご使用ください。



ポジション0
巻上げ

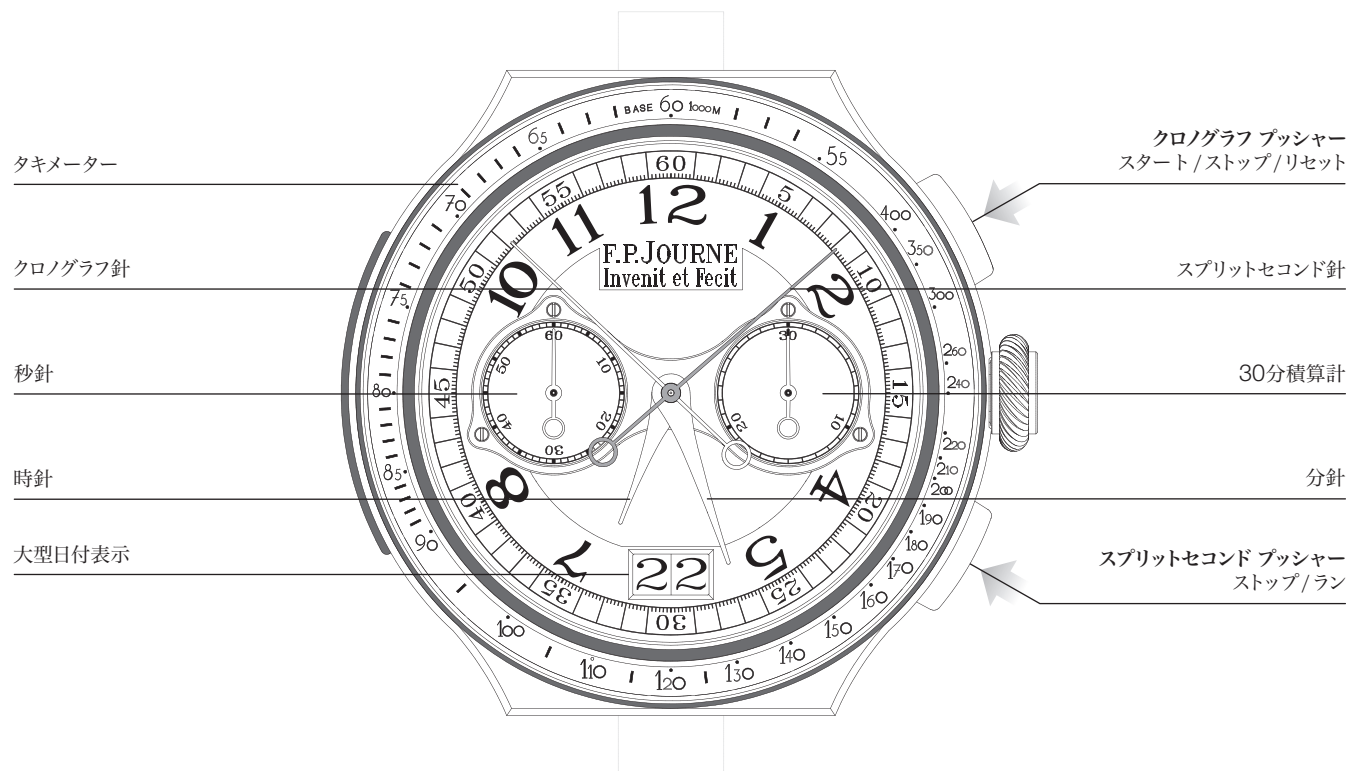


ポジション1
大型日付表示の調整



ポジション2
時刻合わせ

機能と表示



スモールセコンドおよび30分積算計はダイヤルにネジ止めされたスティール製の枠*によって固定
*特許取得

特徴

■ プラチナ、ローズゴールド、チタニウム

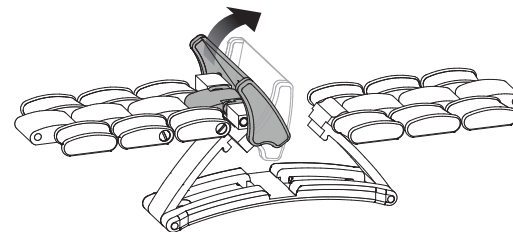
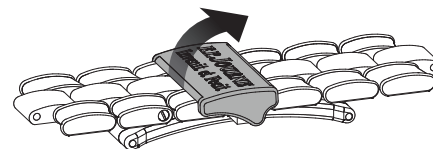
■ 緩衝ラバー



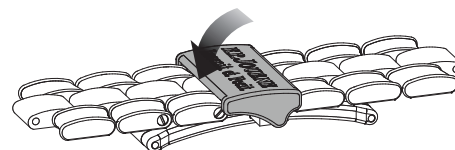
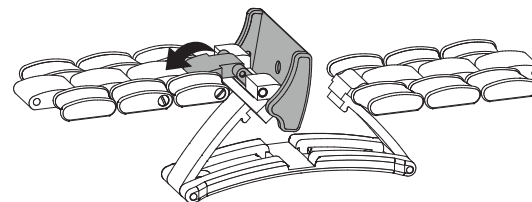
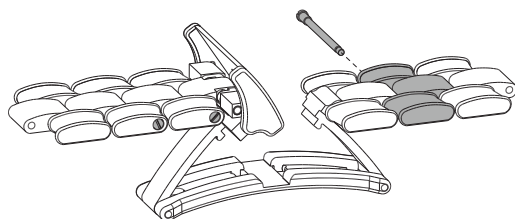
ブレスレット

調整可能なブレスレット

コマ半分の長さを即時に調節可能です



1-2コマ短縮できます



技術仕様

ムーブメント	キャリバー 1518 プラチナPT950製または18Kローズゴールド製モデルには 18Kローズゴールド製ムーブメント チタニウムグレード5モデルにはアルミニウム合金製ムーブメント 手巻き 全巻きにはリューズ35回転
ムーブメントのサイズ	ムーブメント直径: 33.60 mm ケーシングした状態での直径: 33.20 mm 全高: 6.80 mm 巻真までの高さ: 2.20 mm 巻真のネジ部分の直径: S1.20 mm
バランスホイール	インラインレバー脱進機、15歯のガンギ車 4つの調整用イナーシャウエイト アナクロン・フリースプリング・フラットヘアスプリング 可動式ヒゲ持ち 緩急針なし コレットとヘアスプリングはニヴァトロニックレーザー溶接 ヘアスプリングはヒゲ持ちヘピンによって固定 振動数: 21'600 振動/時(3Hz) 慣性質量: 10.10 mg ² cm ² 拘束角: 52° 振り角: 水平姿勢12時間経過後: > 300° 垂直姿勢12時間後: > 260°
主要な特徴	リューズにラバーをコーティング、3ポジションによる操作 巻上げ、ポジション1 日付調節、ポジション2 時刻合わせ、ポジション3 クロノグラフ操作: 2時位置でスタート・ストップ・リセット スプリットセコンド操作: 4時位置

パワーリザーブ	クロノグラフ機能を作動させない状態で約80時間
表示	文字盤中央の時分針 9時位置の60秒積算計 3時位置のジャンピング30分クロノグラフ積算計 6時位置の大型日付表示
装飾	コート・ド・ジュネーブ（サーキュラー）仕上げを施したブリッジ ペルラージュ仕上げを施されたベースプレート ネジは面取り、及び先端は研磨仕上げ 歯車は面取り、及び筋目仕上げ スチール製部品は手作業で研磨及び装飾、表面はヘアライン仕上げ
ケース	直径44mm、全高 12.10mm プラチナ 950 / 18Kローズゴールド / チタニウム グレード5
文字盤	プラチナ - ギョーシェ彫りが施されたブルーモーブ、 ホワイトゴールド製のアップライドインデックス、 シルバー製の2つのクロノグラフ積算計、ロジウムメッキ針 ローズゴールド - ギョーシェ彫りが施されたルーテニウムカラー、 ローズゴールド製のアップライドインデックス、 シルバー製の2つのクロノグラフ積算計、5Nゴールドメッキ針 チタニウム - スレートカラーのアルミニウム合金製、 スーパーミノバのアップライドインデックス、 刻印のされたサファイアクリスタルの2つのクロノグラフ積算計、 スーパーミノバが施された針
ブレスレット	プラチナ PT950、18Kローズゴールドまたはチタニウムにラバー製インサート
部品点数	ムーブメント(文字盤含まず): 285 ケースにブレスレットを取り付けた状態: 562 石数: 29

メンテナンス

より良い状態でご使用いただく為、4年毎のオーバーホールをお薦め致します。

保証書

保証書の原本は大切に保管して頂けますようお願いいたします。いかなるアフターサービスのご提供に際しましても、ご提示をお願いしております。また、アフターセールスサービスはF.P.ジュルヌブティック並びに正規代理店でのみ受け付けております。

保証

お客様のF.P.Journe “Invenit et Fecit”の時計は保証書の裏に明記された購入日から2年間、いかなる製造上の欠陥に対しても保証されます。保証書はF.P.ジュルヌブティック並びに正規代理店においてすべての必要事項（シリアルナンバー、購入日、販売店の店印）が記入されている場合に限り有効です。この保証は腕に装着している場合でも不適切な使用、事故・災害、改造といったことによって受けたダメージについては適用されません。

保証期間の延長

お客様のF.P.Journe “Invenit et Fecit”の時計はF.P.Journeブティックで購入された場合、保証カードまたは証明書裏面に表示された購入日から3年間自動的に保証されます。また正規代理店からご購入の場合は、ご購入頂いた日から30日以内に<https://customerservice.fpjourne.com/en/guarantee>のサイトから必要事項を記載して登録を行って頂く事で保証期間が1年間延長になります。